

倉敷市地域公共交通網形成計画

暮らしを支え 活気をつなぐ 倉敷の魅力を高める公共交通網

実施計画(案)



令和3年10月

倉敷市

倉敷市地域公共交通網形成計画 ～概要版～

平成29年3月策定

平成30年1月変更



▼計画の区域 倉敷市全域

▼計画の期間 平成29年度～令和3年度の5年間

▽ 理念

暮らしを支え 活気をつなぐ 倉敷の魅力を高める公共交通網

基本方針	基本目標	目標の達成に向けた事業の方向性
網 都市の骨格を形成する公共交通	1. 都市の骨格を形成する幹線交通の利便性を高める	幹線のサービス強化
	2. 交通拠点の利便性を高める	交通結節点機能の強化
暮 市民に愛され暮らしを支える公共交通	3. 誰もが安心して移動できる環境を提供する	暮らしを支える交通サービスの活性化 安定したサービス提供に向けた体制づくり 福祉支援としての公共交通サービスの提供とバリアフリー化推進
活 都市に豊かさ活力を生み出す公共交通	4. 関係者や地域との協働による公共交通のサービス向上とPRにより、選ばれる公共交通を実現する	過度な自家用車利用から公共交通への転換と利用しやすくなる環境の構築
	5. 市街地への自家用車等の流入を抑制し歩いて楽しいまちづくりを実現する	公共交通を利用した移動しやすい環境の提供
魅 国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通	6. 地域の財産である鉄道を活かしたまちづくりを実現する	鉄道のサービス向上と利用促進
	7. 市民および来訪者が公共交通を快適に利用できる環境を提供し、市全体の魅力を高める	公共交通を快適に利用できる環境づくり
	8. 観光客や市民の市内での周遊・交流を促進し、人々の交流を深める	観光客の二次交通の充実と情報発信

これからの倉敷市



▽ 公共交通ネットワーク



広域交通

- JR西日本 (山陽新幹線)
- JR西日本 (在来線特急)
- JR西日本 (在来線)・井原鉄道
- 高速バス
- 航空
- 空港リムジンバス

広域交通



交通拠点・乗継拠点

- 広域交通拠点
- 交通拠点
- 乗継拠点

幹線

- JR西日本
- 水島臨海鉄道
- 井原鉄道
- 路線バス

支線

- 路線バス
- 循環路線バス
- コミュニティタクシー

分類	概要と役割
広域交通	倉敷市外と市内を結ぶ広域的な公共交通 ▶市外と市内拠点間の移動手段を担い さらに一部幹線としての機能も担う
幹線	市内交通の骨格として地域・地区間を結ぶ公共交通 ▶地域・地区間の移動手段を担う
支線	地域・地区の特性に応じて各拠点と居住エリアや施設等を結ぶ公共交通 ▶広域交通や幹線に接続する地域・地区内の移動手段を担う

分類	概要と役割
広域交通拠点	広域拠点として施設や路線が集積する拠点 ▶市内外からの移動の結節点でありかつ、 広域交通や幹線と支線の結節点としての機能を果たす
交通拠点	地域・地区拠点として施設や路線が集積する拠点 ▶広域交通や幹線と支線の結節点としての機能を果たす
乗継拠点	幹線どうしの乗り継ぎや、幹線と支線の乗り継ぎの拠点 ▶幹線と支線の乗り継ぎや、幹線と支線の乗り継ぎの拠点としての機能を果たす

▽ 関係主体の役割

- ☞ 地域主体型公共交通の導入に向けた検討・運営
- ☞ 積極的な利用
- ☞ マナーを守った利用
- ☞ 必要に応じた地域負担と地域企業の協賛等の協力依頼

市民

- ☞ 交通事業者との連携
(路線、停留所設置、時刻調整など)
- ☞ 従業員の通勤利用の促進
- ☞ 地域貢献 (利用促進のPR、割引等での協賛)
- ☞ 地域の魅力の向上

地域企業

行政

- ☞ ハード・ソフト整備
- ☞ 地域主体型公共交通の導入に向けた協議・調整
- ☞ 財政的支援
- ☞ 市民、地域企業、交通事業者との連携をコーディネート

協働

交通事業者

- ☞ 路線の維持
- ☞ サービスの向上
(運行ダイヤ、運行本数、安全、接遇など)
- ☞ 経営努力の継続
- ☞ 地域主体型公共交通の運行

【発行】倉敷市

【発行日】平成29年3月

平成30年1月変更

【編集】倉敷市建設局都市計画部交通政策課

〒710-8565 倉敷市西中新田640 TEL:086-426-3545 FAX:086-421-1600

URL: <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/koutsu/>

網

都市の骨格を形成する公共交通

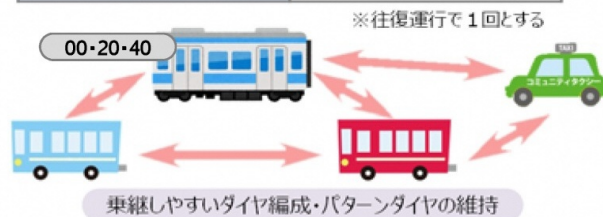
利便性・快適性の向上

市内交通の骨格として地域・地区間を結ぶ幹線のサービスを強化し、利便性や快適性の向上を図ります。

- (1) 利便性の高い運行時間帯、運行回数の確保
- (2) 利用しやすいダイヤの確保

参考 利便性の高い運行回数

朝（始発～10時台） 夕（16時台～20時台）	1時間あたり2回以上
その他の時間帯	1時間あたり1回以上
合計	1日あたり26回以上



倉敷駅の拠点性の向上

都市交通の円滑化と安全性や都市防災機能の向上を図るとともに、鉄道によって分断された南北市街地の一体化を促進し都市機能の強化を図ります。

- (1) J R山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業
- (2) 鉄道高架化に合わせた利便性の高い駅前広場

交通拠点等の改善

公共交通機関相互のネットワークを繋ぐ「交通拠点」において、拠点の特性に応じた整備・改善を進め、公共交通の利便性を高めます。

- (1) 広域交通拠点の整備・改善
- (2) 交通拠点の整備・改善
- (3) 乗継拠点の整備・改善
- (4) 主要な停留所における待合環境の改善

参考 停留所の待合環境の改善



快適な走行環境の整備

路線バスの定時性を高め、中心市街地周辺での利便性向上を図ります。

- (1) 公共交通を優先する走行環境を整備

暮

市民に愛され暮らしを支える公共交通

コミュニティタクシーの普及・拡大

地域等が主体となって運営するコミュニティタクシーの普及や利用を促進し、誰もが安心して生活できる環境をつくれます。

- (1) 出前講座やパンフレットなどによる普及促進
- (2) コミュニティタクシー運行エリアの拡大
- (3) コミュニティタクシーを導入しやすい制度づくり
- (4) コミュニティタクシーを利用しやすい環境づくり

参考 出前講座の開催



地域地区内交通の活性化

地域・地区内交通の活性化により、誰もが安心して生活できる環境をつくれます。

- (1) 運行時間帯、運行回数の確保
- (2) 地域の生活関連施設における利用環境の向上
- (3) タクシーの活用

参考 子どもが単独で利用できる「おこさまタクシー」



非常時・災害時における体制づくり

非常時・災害時に備えた、体制づくりにより、市民の暮らしを支える安定した公共交通を目指します。

- (1) 非常時・災害時における利用者への情報提供
- (2) 乗務員等の行動マニュアル作成

安定した担い手確保と育成

安定した担い手の確保・育成により、市民の暮らしを支える持続可能な公共交通を目指します。

- (1) 安定した担い手確保と育成

高齢者や障がい者などに対する支援

利用者負担の軽減や、サービスの周知を行い、高齢者や障がい者が安心して生活できる環境をつくれます。

- (1) コミュニティタクシーの利用料金の割引
- (2) 高齢者を対象とした利用料金の割引
- (3) 障がい者を対象とした利用料金等の助成
- (4) 福祉有償運送の情報提供

参考 コミュニティタクシー利用者証



バリアフリー化の推進と情報提供

バリアフリー化の推進により、誰もが公共交通を利用しやすい環境をつくれます。

- (1) バス車両のバリアフリー化
- (2) エンバーサルデザインタクシー車両の導入推進と利用促進
- (3) 駅舎や乗り継ぎ経路などのバリアフリー化と情報提供

活

都市に豊かさと活力を生み出す公共交通

公共交通での移動が便利な「まちなか空間」の創造

まちなかでの移動のニーズに応えたサービスの提供や自家用車の流入抑制により、まちなかでの公共交通の利便性向上を図ります。

- (1) 中心市街地における公共交通の利便性向上
- (2) 路線バス運賃上限制度や乗り継ぎ割引
- (3) 事業者間連携による企画乗車券
- (4) パーク＆ライド駐車場の利用促進

参考 バスマップを活用した中心市街地の利便性向上



自転車等の利用環境の向上

鉄道や路線バスの利用圏域を拡大する自転車等の利用環境向上により、公共交通利用者の拡大を図ります。

- (1) サイクル＆ライド自転車駐車場の利用促進
- (2) 自転車駐車場を気持ちよく使うことができる環境整備

鉄道駅周辺環境の向上と沿線の活性化

地域住民や利用者との協働による鉄道駅や沿線周辺環境の活性化を進め、鉄道を活かしたまちづくりに取り組みます。

- (1) 駅周辺環境の向上
- (2) 沿線の魅力についての情報提供

鉄道の更なる認知度の向上

地域住民や利用者との協働により、より多くの人に愛され、また利用される鉄道を目指します。

- (1) 「愛される鉄道」への取り組み
- (2) 「使える鉄道」の情報提供

参考 地域住民や園児らに見守られて走行する「雛列車」



魅

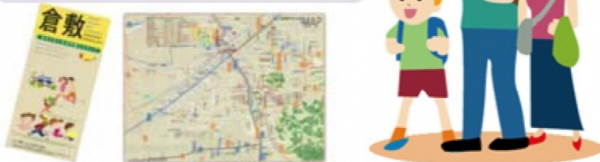
国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通

わかりやすい情報の提供

おでかけの足として「使える公共交通」とするため、市民・来訪者にわかりやすく情報を提供します。

- (1) 公共交通マップ・総合時刻表の作成と配布
- (2) 情報案内板や経路案内の改善・整備
- (3) 公共交通の認知度向上
- (4) 案内所のサービス強化

参考 倉敷 おもてなし公共交通マップ



接遇やマナーの向上

乗務員等の接遇向上や利用者のマナー啓発により、誰もが気持ちよく利用できる環境をつくれます。

- (1) 乗務員等の接遇向上
- (2) 利用者のマナー啓発

タクシーを活用した観光客の二次交通の充実

タクシーを活用した観光二次交通の充実により、観光客の市内および周辺地域での周遊を促進します。

- (1) 観光タクシー乗務員の育成
- (2) 観光タクシーのモデルコース

観光モビリティ・マネジメント等の推進

公共交通の利用を促進するため、観光客向け、市民向けの情報提供を充実し、市内および周辺地域での周遊促進を図ります。

- (1) 観光客向けの情報提供
- (2) 市民向けの情報提供

参考 インターネット等を活用した情報発信



モビリティ・マネジメント等の推進

学校、地域企業等を対象としたモビリティ・マネジメント等の推進により、過度な自家用車利用から二酸化炭素排出量の少ない公共交通利用への転換を図ります。

- (1) 学校などを対象としたモビリティ・マネジメント
- (2) 事業所などを対象としたモビリティ・マネジメント
- (3) 利用促進キャンペーンの開催
- (4) 「おかやま愛カード」の普及推奨
- (5) 利用促進事業への助成

参考 バス教室



ICカード・バスロケーションシステムの導入と利用促進

ICカードやバスロケーションシステムなど、利便性の高いサービスを提供することで、公共交通を利用したくなる環境をつくれます。

- (1) バスロケーションシステム導入
- (2) ICカードの利便性のPR
- (3) ICカード導入と活用研究

参考 高校入学者に配布されるハレカードのちらし



参考 バスロケーションシステム

あと3分で到着予定

バス番号	乗客数	乗客数	乗客数
11-33	7名	乗客数	乗客数
11-36	7名	乗客数	乗客数
11-41	7名	乗客数	乗客数

評価指標

網

都市の骨格を形成する公共交通

評価指標	幹線の年間利用者数						
指標の定義	幹線である鉄道・路線バスの年間利用者数						
算出方法	路線バスは年間輸送人数の合計値より、鉄道は1日あたり乗降者数の半数を1日あたり利用者数として、年間利用者数を算出。						
基準値（基準年度）	3,462,100 人/年 （平成27年度）						
目標値（目標年度）	3,470,000 人/年 （令和3年度） 基準年から 7,900（人/年）増加						
目標値の考え方	直近3年間の最高値を維持しながら増加を目指す						
対象路線	番号	路線	事業者	系統番号（本編105頁）			
	1	倉敷⇄水島（古城池経由）	両備ホールディングス(株)	① ②			
	2	倉敷⇄水島（連島経由）	両備ホールディングス(株)	③ ④			
	3	倉敷⇄水島（鉄道）	水島臨海鉄道(株)	⑤			
	4	倉敷⇄児島（天城経由）	下津井電鉄(株)	⑥ ⑦			
	5	倉敷⇄児島（塩生経由）	下津井電鉄(株)	⑧ ⑨ ⑩ ⑪			
	6	倉敷⇄茶屋町	下津井電鉄(株)	⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒			
	7	玉島⇄水島	両備ホールディングス(株)	㉓			
輸送実績/目標達成度	平成27年度 基準値	平成28年度 (参考値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 目標値
幹線の輸送実績計	3,462,100	3,501,610	3,427,706	3,445,456	3,558,958	2,749,463	
目標値	3,462,100	3,463,417	3,464,733	3,466,050	3,467,367	3,468,683	3,470,000
実績値－目標値	-	38,193	▲ 37,027	▲ 20,594	91,591	▲ 719,221	
判定	-	達成	未達成	未達成	達成	未達成	

計画期間

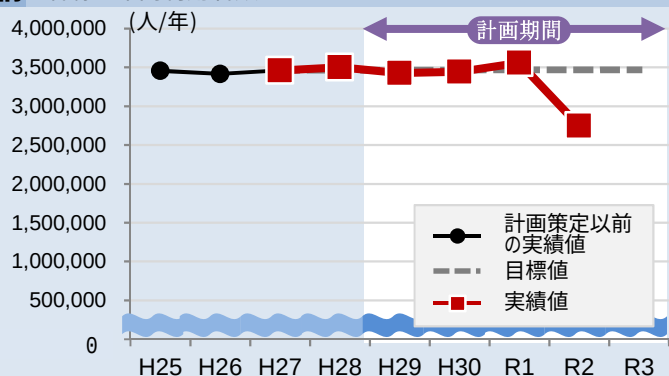
暮

市民に愛され、暮らしを支える公共交通

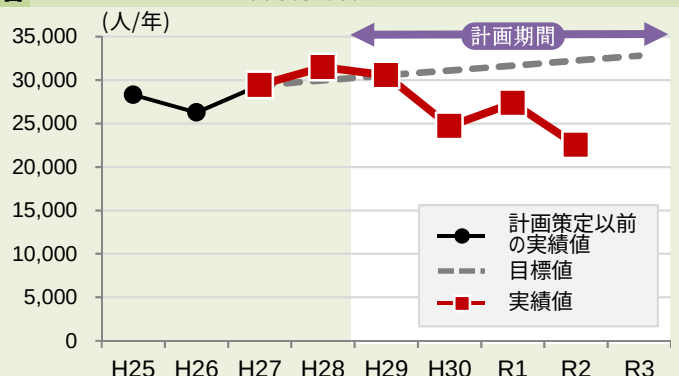
評価指標	コミュニティタクシーの年間利用者数						
指標の定義	各地区で運行されるコミュニティタクシーの年間利用者数の合計値						
算出方法	年度内利用者数の合計						
基準値（基準年度）	29,401 人/年 （平成27年度）						
目標値（目標年度）	32,800 人/年 （令和3年度） 基準年から 3,399（人/年）増加						
目標値の考え方	直近3年間の最高値を維持しながら増加を目指す						
輸送実績/目標達成度	平成27年度 基準値	平成28年度 (参考値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 目標値
コミュニティタクシーの利用者数	29,401	31,481	30,682	24,695	27,331	22,522	
目標値	29,401	29,968	30,534	31,101	31,667	32,234	32,800
実績値－目標値	-	1,514	148	▲ 6,406	▲ 4,336	▲ 9,712	
判定	-	達成	達成	未達成	未達成	未達成	

計画期間

網 幹線の年間利用者数



暮 コミュニティタクシーの年間利用者数



活 都市に豊かさと活力を生み出す公共交通

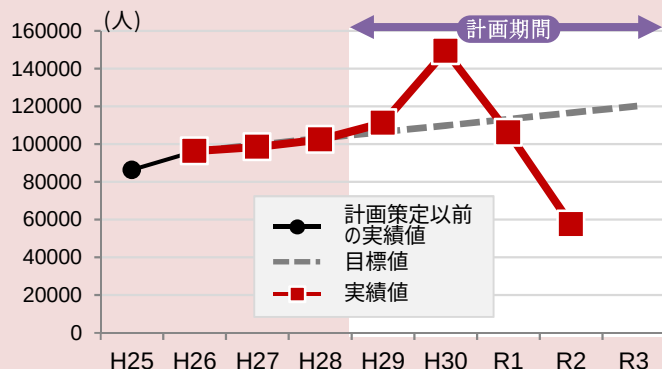
評価指標	市中心部の歩行者・自転車通行量							
指標の定義	中心市街地内（倉敷駅周辺）27地点での、休日1日あたり歩行者・自転車通行量							
算出方法	倉敷市中心市街地通行量調査による							
基準値（基準年度）	96,263 人/日 （平成26年度）							
目標値（目標年度）	120,000 人/日 （令和3年度） 基準年から 23,737（人/年）増加							
目標値の考え方	倉敷市中心市街地活性化基本計画（新計画）に定める指標と目標値であり、公共交通に関わる各種事業の推進により同目標値達成を目指す。							
目標達成度	平成26年度 基準値	平成27年度 (参考値)	平成28年度 (参考値)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 目標値
実績値	96,263	98,514	102,388	111,296	149,406	106,066	57,440	
目標値	96,263	99,654	103,045	106,436	109,827	113,218	116,609	120,000
実績値－目標値	-	▲ 1,140	▲ 657	4,860	39,579	▲ 7,152	▲ 59,169	
判定	-	✗ 未達成	✗ 未達成	✓ 達成	✓ 達成	✗ 未達成	✗ 未達成	

← 計画期間 →

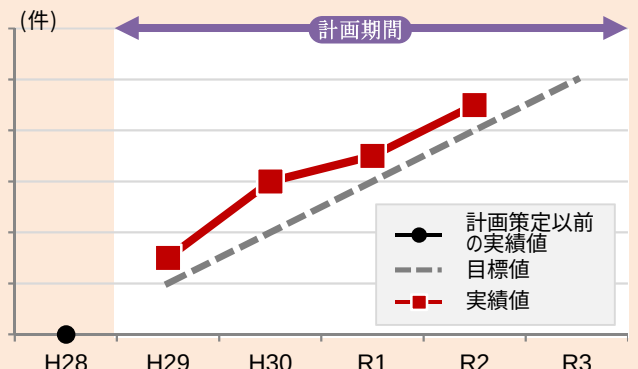
魅 国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通

評価指標	わかりやすい情報提供の取り組み件数																						
指標の定義	わかりやすい情報の提供に関して行う事業のうち、新規に実施した事業または改善した事業の総数。																						
算出方法	「魅：国内外からのニーズに応えたおもてなしの公共交通」に関連する取り組みの実施数をカウントする。																						
基準値（基準年度）	0 件				（ 新たに計測 ）																		
目標値（目標年度）	10 件				（ 令和3年度 ）				基準年から 10（件）増加														
目標値の考え方	年間1件以上を実施し、計画年度内にすべてを実施する。																						
対象事業	Q	わかりやすい情報の提供						Q-(1)		公共交通マップ・総合時刻表の作成と配布													
								Q-(2)		情報案内板や経路案内の改善・整備													
								Q-(3)		公共交通の認知度向上													
								Q-(4)		案内所のサービス強化													
	R	接遇やマナーの向上						R-(1)		乗務員等の接遇向上													
								R-(2)		利用者のマナー啓発													
	S	タクシーを活用した観光客の二次交通の充実						S-(1)		観光タクシー乗務員の育成													
								S-(2)		観光タクシーのモデルコース													
	T	観光モビリティ・マネジメント等の推進						T-(1)		観光客向けの情報提供													
								T-(2)		市民向けの情報提供													
達成状況	平成29年度				平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度 目標値						
達成度	✖	9	項目	3	件数	3	項目	2	件数	3	項目	1	件数	1	項目	2	件数	2	項目		件数		
目標値			項目	2	件数	2	項目	2	件数	2	項目	2	件数	2	項目	2	件数	2	項目	2	件数	2	
実績値－目標値			項目	+1	件数	+1	項目	+0	件数	+1	項目	▲ 1	件数	▲ 1	項目	+0	件数	+0	項目		件数		
判定	✔	達成	✔	達成	✔	達成	✔	達成	✔	達成	✖	未達成	✖	未達成	✔	達成	✔	達成					
														← 計画期間 →									

活 市中心部の歩行者・自転車通行量



魅 わかりやすい情報提供の取り組み件数



施策の進捗状況

令和3年3月末時点の状況

網

都市の骨格を形成する公共交通

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
A-(1) 利便性の高い運行時間帯，運行回数の確保	継続	・市内に有するすべての路線において利便性の高い運行時間帯，運行回数を確保	
	継続	・利便性の高い運行時間帯，運行回数を確保	
	継続	・倉敷⇄水島（連島経由），玉島⇄水島における利便性の高い運行時間帯，運行回数を確保	
	継続	・倉敷⇄水島（古城池経由）における運行回数の確保について可能性を検討	
	継続	・倉敷⇄児島，倉敷⇄茶屋町における利便性の高い運行時間帯，運行回数を確保 4月改正 天城線 下之町経由を天城経由に変更 児島駅～宇野駅行きを新設	
	継続	・バスロケーションシステムを利用した運行実績から遅延情報を蓄積し、より実態に合ったダイヤを作成 →H30.4月の改正で実施（青葉町車庫、小溝車庫、倉敷循環線）（両備ホールディングス）	
	継続	・水島臨海鉄道軌道安全輸送設備整備費等補助（耐震補強工事）	R2年度分をR3年度に繰越
	継続	・鉄道施設緊急耐震対策事業の実施	
	継続	・井原線鉄道基盤設備維持費補助	19,399
A-(2) 利用しやすいダイヤの確保	継続	・乗り換えしやすい接続ダイヤの検討	
H29～30 事業者間における玉島地区のダイヤを調整（両備ホールディングス・井笠バスカンパニー） →H30.4月の改正で両備・玉島中央町線を減便するも井笠バスとの運行間隔を調整し、一定間隔の運行を維持する。	継続	・パターンダイヤの検討	
	継続	・事業者間における接続ダイヤの検討	
	継続	・事業者間における玉島地区のダイヤを調整（両備ホールディングス・井笠バスカンパニー） →H30.4月の改正で両備・玉島中央町線を減便するも井笠バスとの運行間隔を調整し、一定間隔の運行を維持する。	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施		継続実施▶			交 J R 西日本(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 水島臨海鉄道(株)
継続	コロナの需要減による影響に基づく計画変更が必要		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	コロナの需要減による影響に基づく計画変更が必要		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施 4月改正 児島循環線の市民病院乗入れ系統を新設 (実施済) コロナ影響下の運行系統・時刻の見直し(継続)		継続実施▶			交 下津井電鉄(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株) 交 下津井電鉄(株) 交 岡山電気軌道(株)
継続	→継続実施	13,334	継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 水島臨海鉄道(株)
継続	→継続実施	35,043	継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
B-(1) 広域交通拠点の整備・改善	継続	・乗り換え案内による情報提供	660
H29～30 公共乗換案内システムを更新 (JR倉敷駅自由通路)		・倉敷市駅⇄JR倉敷駅相互の乗継利便性の向上についての検討	
		・のりば案内看板等の改善を検討	
		・自由通路の美装化(中庄駅自由通路)	462
B-(2) 交通拠点の整備・改善	継続	・公共交通乗換案内システムの導入を検討	
B-(3) 乗継拠点の整備・改善	継続	・乗り継ぎ先乗り場位置、時刻表の表示	
B-(4) 主要な停留所における待合環境の改善	継続	・主要停留所の上屋設置と維持管理	
C-(1) JR山陽本線等倉敷駅付近連続立体交差事業	継続	・事業の再評価に向けて、市として事業主体である県等と協議(鉄道高架推進室)	
C-(2) 鉄道高架化に合わせた利便性の高い駅前広場	継続	→連続立体交差事業の進捗に合わせ検討予定	
D-(1) 公共交通を優先する走行環境を整備	新規	・PTPSの研究	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施	660	継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課 市 道路管理課
継続	→継続実施	390	継続実施▶			市 道路管理課
継続	→検討継続		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→検討継続		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			他 岡山県
継続	→検討継続		継続実施▶			市 鉄道高架推進室
継続	→研究継続		検討・調整▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課 他 警察

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
E-(1) 出前講座やパンフレットなどによる普及促進 H29～30 ・出前講座等の開催（H29：4件，H30：2件）	継続	・出前講座等の開催（1件）	
	継続	・パンフレット「導入の手引き」の配布	
E-(2) コミュニティタクシー運行エリアの拡大 H29～30 ・試験運行の実施（水島地区・3ルート） から本格運行へ移行	継続	→継続実施 水島地区（広江エリア）の試験運行開始	
E-(3) コミュニティタクシーを導入しやすい制度づくり	継続	・現行制度の検証と具体策の検討	
E-(4) コミュニティタクシーを利用しやすい環境づくり	継続	・具体策の検討	
F-(1) 利便性の高い運行時間帯，運行回数の確保	継続	・日常生活に利用できる最低限の運行時間帯，運行回数を確保を目指す	
	継続	・バス路線維持等補助金（交通政策課）	54,484
	継続	・コミュニティタクシー運行費補助金（交通政策課）	24,390
	継続	・ダイヤ改善（人員と車両等運用の最適化）	
F-(2) 地域の生活関連施設における利用環境の向上 H29～30 ・コープ倉敷北店乗入れ（東酒津CT） ・ハーバーアイランド3工区延伸 （両備ホールディングス）	継続	・平成病院乗入れ（東酒津CT）・船穂農協・エブリイ乗入れ（船穂CT）・倉敷市立病院，鷺羽山第二展望台乗入れ（下津井電鉄）	
F-(3) タクシーの活用	継続	・生活支援等と関連した利用促進策の検討	
G-(1) 非常時・災害時における利用者への情報提供	継続	・利用者への周知方法，連携体制の調査，検討	
G-(2) 乗務員等の行動マニュアル作成 H29～30 ・乗務担当者必携マニュアルの策定 （両備ホールディングス）	継続	・緊急時の体制の整備の検討	
	継続	・乗務担当者必携マニュアルの策定（両備ホールディングス）	
H-(1) 安定した担い手確保と育成 H29～30 ・女性ドライバーを採用（H29：3名，H30：3名） （両備ホールディングス）	継続	・運転免許取得の補助制度	
	継続	・会社説明会の定期実施（下津井電鉄）	
	継続	・女性ドライバー採用準備（下津井電鉄） →01年度採用無し	
	継続	・女性ドライバーを2名採用（両備ホールディングス）	
	継続	・県外も含め定期的な採用説明会を実施（両備ホールディングス）会社説明会の定期実施（岡山電気軌道）	
I-(1) コミュニティタクシーの利用料金の割引 H29～30 ・おかやま愛カード掲示による利用料金の割引 （交通政策課）	継続	・高齢者等を対象とした利用料金の割引（交通政策課） ・利用者証の発行（健康長寿課）	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施（随時）		継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施	76,800	継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施	25,337	継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施					交 (株)井笠バスカンパニー
継続	→継続実施		継続実施▶			企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課 他 岡山県・国
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→運用継続		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
検討	→コロナにより仕事数が減り、新規雇用は一時中断		未定			交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施▶			交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施（ただし、採用抑制期間中は見送り：両備ホールディングス、岡山電気軌道）		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株) 交 岡山電気軌道(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			市 交通政策課 市 健康長寿課

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
I-(2) 高齢者を対象とした利用料金の割引	継続	・企画乗車券「ことぶきパス」の発行（両備ホールディングス・下津井電鉄・岡山電気軌道） ・企画乗車券「もみじパス」の発行（井原鉄道） ・割引制度の周知（交通政策課）	
I-(3) 障がい者を対象とした利用料金等の助成	継続	・障がい者移動支援事業の実施（福祉タクシーチケット，リフトタクシーチケット，路線バス利用料，鉄道運賃の助成）	46,433
I-(4) 福祉有償運送の情報提供	継続	・福祉有償運送事業者に対する支援 ・市民に対する福祉有償運送の情報提供	50
J-(1) バス車両のバリアフリー化	継続	・バリアフリー化車両の導入（2両導入済）	
H29～30 ・バリアフリー化車両の導入（中古4両，新車2両導入済）（下津井電鉄） ・バリアフリー化車両の導入（4台）（両備ホールディングス） ・バリアフリー化車両の導入（ノンステップバス4台）（岡山電気軌道）	継続	・バリアフリー化車両の導入（令和2年度は導入見送り）	
	継続	・バリアフリー化車両の導入（令和2年度は導入見送り）	
	継続	・筆談によるコミュニケーションの実施	
	継続	・ユニバーサルデザインタクシー車両の導入（10両導入，2両減車→8両増）	
J-(2) ユニバーサルデザインタクシー車両の導入推進と利用促進	継続	・ユニバーサルデザインタクシー車両の導入（10両導入，2両減車→8両増）	
H29～30 ・ユニバーサルデザインタクシー車両の導入（H29：7台，H30：7台）	継続	・ホームページ等での情報提供による利用促進	
J-(3) 駅舎や乗り継ぎ経路などのバリアフリー化と情報提供	継続	・駅施設や経路の整備状況をホームページ等により情報提供	
	継続	・乗継経路の表示方法について検討	
K-(1) 学校などを対象としたモビリティ・マネジメント	継続	・小学生を対象にした路線バスの乗り方教室を開催（コロナの影響により，鉄道・バス教室動画を制作）	363
H29～30 ・小学生を対象にした路線バスの乗り方教室を開催（H29：12校，H30：7校）	継続	・沿線高校入学者説明会に路線バスのご案内に訪問	
	継続	・沿線中学高校に通学定期販売促進チラシを配布	
	継続	・沿線高校へ出向いて通学定期を販売	
	継続	・先進的なMM施策について情報収集と研究	
	継続	・「スマート通勤おかやま」への参加（国）	
K-(2) 事業所などを対象としたモビリティ・マネジメント	継続	・市職員を対象とした「チャレンジ・エコ通勤」の実施（交通政策課）	
	継続	・利用促進のためのポスター作製と掲示（交通政策課）	
	継続	・沿線施設への停留所時刻表配布	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施	48,550	継続実施▶			市 障がい福祉課
新規	精神障がい者運賃割引制度の制定		継続実施▶			交 井原鉄道(株) ※他の事業者も実施している。
継続	→継続実施	200	継続実施▶			市 障がい福祉課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 下津井電鉄
継続	→継続実施 (但し、令和3年度の導入計画は未定)		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施 (但し、令和3年度の導入計画は未定)		継続実施▶			交 岡山電気軌道(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
						交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施 (市内の小学校で鉄道・バス教室動画を使用)	693	継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 下津井電鉄
継続	→継続実施		継続実施▶			交 井原鉄道(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課 他 岡山県・国
継続	→継続実施		継続実施▶			市 交通政策課 交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株) 交 下津井電鉄

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
K-(3) 利用促進キャンペーンの開催			
	継続	・「くらしき環境フェスティバル」への出展（交通政策課、公共交通事業者）	
	継続	・季節に応じたイベントバス運行（桜・七夕・ハロウィン・クリスマス）	
	継続	・「両備グループフェア」の開催（隔年開催）	
	新規	・バス利用者を対象にした沿線商業施設クーポン券提供のキャンペーンを実施（2019年度年末年始 MOP）	
	継続	・「スルッとKANSAIバスまつり」への参加 →コロナの影響の為不参加（下津井電鉄） →コロナの影響の為不参加（両備ホールディングス）	
K-(4) 「おかやま愛カード」の普及推奨			
	継続	・カード所持者に対して割引制度の実施	
	継続	・ホームページ等での情報提供	
	継続	・コミュニティタクシー利用時の割引を実施	
	継続	・「おかやま愛カード」の発行	
K-(5) 利用促進事業への助成			245
	継続	・井原線利用促進活動補助事業への支援（交通政策課）→コロナの影響により中止	
	継続	・竹のまちフェア開催（地元・交通政策課）	
	新規	・水島臨海鉄道利用促進活動への支援（交通政策課）	
L-(1) バスロケーションシステム導入			
	継続	・バスロケーションシステムの運用	
	継続	・車内におけるフリーWiFiの運用	
L-(2) ICカードの利便性のPR			
	継続	・ちらし、ホームページ等によりICカードの高い利便性を情報提供	
	継続	・ハレカ通学定期券ちらしの配布（倉敷市内 中・高・大学）	
L-(3) ICカード導入と活用の研究			
	継続	・ICカード導入について研究	
	継続	・交通系ICカード（10カード）の片利用（運用）	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課/環境政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株) 交 (株)井笠バスカンパニー
継続	→今後の計画は未定		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→イオンモール倉敷イベント来場者への復路バスチケット提供のキャンペーンを実施（令和3年GW）		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施（令和3年度不参加：両備ホールディングス）		継続実施▶			交 下津井電鉄(株) 交 両備ホールディングス(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			市 生活安全課
継続	→継続実施		継続実施▶			市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			他 警察
継続	→継続実施	245	継続実施▶			民 市民/利用者 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施	800	継続実施▶			
継続	→継続実施	600	継続実施▶			
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株) 交 下津井電鉄(株) 交 岡山電気軌道(株) 交 (株)井笠バスカンパニー
継続	→継続実施		継続実施▶			交 下津井電鉄(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 下津井電鉄(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			交 水島臨海鉄道(株) 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株) 交 下津井電鉄(株) 交 岡山電気軌道(株)

事業内容	実績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
M-(1) 中心市街地における公共交通の利便性向上	継続	・中心市街地での移動ニーズに対応した路線展開の検討	
M-(2) 路線バス運賃上限制度や乗り継ぎ割引	継続	・環境定期券の発行（両備ホールディングス・下津井電鉄・井笠バスカンパニー・岡山電気軌道）	
H29～30 共通定期券の発行 玉島地区にて両備バス定期による井笠バス共通利用を開始（両備ホールディングス・井笠バスカンパニー）	継続	・遠距離通学者向けの定期運賃一律サービス（下津井電鉄）	
	継続	・記名式ハレカカード利用時の乗継割引、誕生日割引（両備ホールディングス・下津井電鉄・岡山電気軌道）	
	継続	・共通定期券の発行	
M-(3) 事業者間連携による企画乗車券	継続	・スーパーホリデーパスの発行（井原鉄道・協賛施設） ・スーパーホリデーパスの販売箇所追加（倉敷、福山、総社）	
	継続	・吉備之国くまなくおでかけパスの発行（J R 西日本・井原鉄道・協賛施設）と利用可能路線の拡大（水島臨海鉄道） 期間限定商品→コロナの影響により発売延期	
	継続	・市内を運行する事業者間の企画乗車券の検討 下津井電鉄×水島臨海鉄道 空港リムジン×鉄道との企画さっぶ	
	継続	・デニムD E 行っ得切符の発行（J R 西日本・井原鉄道・イオンモール岡山）	
	継続	・両備バス1日フリー乗車券の販売促進（令和2年度未終了） ・ヘルスピア倉敷とのプールセット券を販売（令和2年度はプール営業中止のため未実施）	
	継続	・サマー定期券利用促進（スタンプラリー） ・モニターツアーの開催 →コロナの影響により、サマー定期券を廃止	
M-(4) パーク&ライド駐車場の利用促進	継続	・定期券購入者を対象としたパーク&ライド駐車場の提供（水島臨海鉄道） ・I C カード併用鉄道利用者への駐車駐車場利用割引を実施（J R 西日本） ・パークアンドライド駐車場の情報提供（井原鉄道）	
N-(1) サイクル&ライド自転車駐車場の利用促進	継続	・公共交通マップへ自転車駐車場位置を掲載（交通政策課）	
	継続	・ホームページ等でサイクル&ライド自転車駐車場の情報を提供（交通事業者）	
N-(2) 自転車駐車場を気持ちよく使うことができる環境整備	継続	・駐車場内の美化、整理（道路管理課ほか）	87,348
	継続	・放置自転車の撤去（道路管理課ほか）	2,606
	継続	・停留所隣接自転車駐車場の美化、放置自転車の撤去（地域・交通事業者）	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→検討継続		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			企 地域企業 交 井原鉄道(株)
継続	・吉備之国くまなくおでかけパスの発行 期間限定商品→新型コロナウイルス感染症の影響により発行見合せ		継続実施▶			企 地域企業 交 J R 西日本(株) 交 井原鉄道(株) 交 水島臨海鉄道
						企 地域企業 交 公共交通事業者
						企 地域企業 交 井原鉄道(株)
新規	・岡山ローカル3線おでかけ切符の発行 (JR西日本・井原鉄道・イオンモール岡山・さんすて岡山・岡山一番街)		継続実施▶			企 地域企業 交 井原鉄道(株) 交 J R 西日本(株)
継続	→ヘルスピア倉敷夏季プール営業がある場合は、セット券販売を検討		継続実施▶			交 両備ホールディングス(株)
継続	→外出自粛を踏まえ、見送りを検討中		継続実施▶			交 (株)井笠バスカンパニー
継続	→継続実施		継続実施▶			企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業
継続	→検討継続		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施	68,452	継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業
継続	→継続実施	2,495	継続実施▶			交 公共交通事業者 市 道路管理課ほか
継続	→継続実施		継続実施▶			

事業内容	実 績			
	区分	令和2年度	事業費:千円	
O-(1) 駅周辺環境の向上	継続	・駅前の美化、植栽管理（真備支所）		
	継続	・駅周辺のあり方について検討		
O-(2) 沿線の魅力についての情報提供	継続	・路線と関連する沿線の魅力の発信方法について検討（交通事業者）		
	継続	・鉄道高架に沿って設置されている「くらしき緑と水のアート回遊」をホームページで紹介（水島支所）		
	継続	・「ピーポー車窓ガイド」の運用（水島支所・水島臨海鉄道）		
	継続	・「りんてつ沿線手帖」による情報提供（倉敷商工会議所）		
P-(1) 「愛される鉄道」への取り組み	継続	・雑列車の運行（水島臨海鉄道） ・七夕列車の運行（水島臨海鉄道） ・ハロウィン列車の運行（水島臨海鉄道） ・クリスマス列車の運行（水島臨海鉄道） ・鉄道の日イベント（水島臨海鉄道） ・水島臨海鉄道50周年記念車両の運行開始（4月1日から）		
H29～30 開業20周年イベントの開催（「井原線。あなたのかなえます」、 「車両ラッピング」）		継続	・ギャラリー列車の運行（井原鉄道） ・ゆるきゃらラッピング列車の運行（井原鉄道）	
		継続	・案内放送の多言語化	
		新規	・井原鉄道シンメトリー（左右対称）記念乗車券の発売	
		新規	・大原美術館と連携した「アート列車」の運行	
	新規	・営業開始50周年記念イベントの開催（式典開催、記念グッズ販売、記念マンホール・カード制作、認定商品等）		
P-(2) 「使える鉄道」の情報提供	継続	・乗換時刻表の作成、情報発信（水島臨海鉄道・井原鉄道）		

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業
継続	→継続実施 倉敷駅前バスターミナルのバス待機場の確保(下津井電)		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課ほか
継続	→運用継続		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→運用継続		継続実施▶			市 水島支所産業課
継続	→継続実施		継続実施▶			
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			
継続	→継続実施		継続実施▶			交 水島臨海鉄道(株)
						交 井原鉄道(株)
継続	→継続実施		継続実施▶			
						交 水島臨海鉄道(株) 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
Q-(1) 公共交通マップ・総合時刻表の作成と配布 H29～30 ・公共交通マップ作成・配布 (A1:20,000部等)	継続	・市内転入者等への公共交通マップの配布	
	継続	・時刻表等を市内高校大学へ訪問配布 (27校) (両備ホールディングス・下津井電鉄)	
	継続	・ポスティングの実施(連島地区、倉敷循環線沿線) (両備ホールディングス)	
	継続	・総合時刻表作成を検討 (交通事業者・交通政策課)	
Q-(2) 情報案内板や経路案内の改善・整備 H29～30 ・バス行先番号化と表示の統一決定 (ナンバリング) 電光方向幕にナンバリングを表示実施 (下津井電鉄) ・バス停留所の標識を更新 (H29:26箇所, H30:26箇所) ・停留所名称43ヶ所変更 平成30年4月実施	継続	・乗換経路上の案内施設の在り方について検討	
	継続	・ナンバリング利用促進策の検討 時刻板・時刻表へ表記, 国からの助成金検討 (下津井電鉄) 2019年5月より停留所時刻表、路線別の配布用時刻表、バスの行き先表示にナンバリングを実施 (両備ホールディングス)	
	継続	・バス停と観光施設を結び付け観光路線としてホームページで紹介	
	継続	・車輛の案内放送多言語化工事 (水島臨海鉄道)	795
	継続	・バス停留所の標識を更新 (2633箇所) 倉敷駅南口地下案内板更新	
Q-(3) 公共交通の認知度向上	継続	・各種イベント時の事前の広報 (井原線感謝デー)	
	継続	・市ホームページを活用した情報提供	
Q-(4) 案内所のサービス強化	継続	・英語対応可能なスタッフの常駐 (観光コンベンションビューロー)	
	継続	・案内拠点として必要な事項の整理、検討 (交通事業者)	
	継続	・井原鉄道企画券 (スーパーホリデーパス) の販売 (倉敷駅前観光案内所)	
R-(1) 乗務員等の接遇向上	継続	・乗務員を対象とした接遇研修の実施	
R-(2) 利用者のマナー啓発	継続	・車内掲示ポスター等によるマナー啓発	
	継続	【再掲】・バス教室の実施 (コロナの影響により、鉄道・バス教室動画を制作)	
S-(1) 観光タクシー乗務員の育成	継続	【再掲】 ・乗務員を対象とした接遇研修の実施	
S-(2) 観光タクシーのモデルコース	継続	・市内周遊モデルコースの設定・運用	
T-(1) 観光客向けの情報提供	継続	・観光地とタイアップした「お得なプラン」の設定と情報発信 (下津井電鉄) JR西日本×ジーンズのまち児島 バス一日乗車券の販売開始 (2019.10.1～) ぐるりんバス、ジーンズのまち児島 バス一日乗車券 →継続実施 JR西日本「setowa」、ジョルダン モバイルチケット導入	

計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→配布継続		継続実施▶			市 交通政策課
継続	→配布継続		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			
継続			継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続			継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	バス停時刻表にナンバリングを反映（下津井電鉄） ナンバリング表示を継続実施（両備ホールディングス）		継続実施▶			
継続	天城線にて沿線の見どころなど紹介		継続実施▶			交 下津井電鉄(株)
						交 水島臨海鉄道(株)
継続	→継続実施（箇所数未定） 倉敷駅南口地下案内板更新		継続実施▶			交 バス協会
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施		継続実施▶			
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課/観光課
継続			継続実施▶			
継続	→検討継続		継続実施▶			
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			民 市民/利用者 企 地域企業 交 公共交通事業者 市 交通政策課
継続	→継続実施（市内の小学校で鉄道・バス教室動画を 使用）		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者
継続	→継続実施		継続実施▶			交 公共交通事業者 市 交通政策課

事業内容	実 績		
	区分	令和2年度	事業費:千円
T-(2) 市民向けの情報提供	継続	・イベントや会議開催時に公共交通を使った来場方法を記載及び他部署への周知（交通政策課）	



計 画						実施主体
区分	令和3年度	事業費:千円	R4	R5	R6	
継続	→継続実施		継続実施▶			 公共交通事業者  交通政策課